

月刊 かわごえ環境ネット

2016年3月号 No.113

<http://kawagoekankyo.net>

2016年3月2日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

コラム	川越の自然を訪ねて (41) チョウの紹介 (その5)	2
	私のエコぐらし (19) 昭和の家屋と平成家屋の経済比	2-3
報告	かわごえ環境フォーラム (その1)	4-5
	かわごえ環境ネットの活動 (1題)	6
	会員・流域の活動 (4題)	6-9
	理事会・専門委員会 (5題)	9-11
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事	12-13
	会員・関係団体の主催・関連行事	13-15
	広報委員会からのお知らせ	15
	イベントカレンダー (3月2日~4月23日)	16

【巻頭言】今年の大雪



自宅前の積雪の様子



坂でトラックが立ち往生

私は、2005年3月にかわごえ環境ネットに入会しました。今年3月で11年を迎えることができました。しかしながら11年を迎えましたから、何としても今年は若者に入会や、環境等の関心を持てるような工夫をしなければなりません。

さて、今年も異常気象現象が起こりました。1月18日(月)には全国的に寒波が入り、関東もかなりの大雪が降りました。3年前ほどの積雪にはならなかったですが、かなりの積雪となり、だいたい10cm以上あったと思います。

自宅のマンション前は、写真でご覧の通り、トラックがスリップして動けなくなりました。これだけ雪が積もるとはほんとうに思いませんでした。子供たちが学校に行かなくてはならないので、少しでも滑らないよう、マンション住民のみなさんと私と管理人さんと一緒に雪かきをしました。氷が混じっていて、スコップでやるとけっこう重くて、息切れがして腰がやられました。なんとか半分くらいには通れるようになりました。

今年の冬は、暖冬なのか寒冬なのがよく分からない天気だなと、改めて感じさせられました。

今年2016年も、体験や社会見学等を通じて、若者のみなさんに環境活動をもっと知ってもらおうよう、がんばって活動をしたいと思っています。

(かわごえ環境ネット理事 安藤裕貴)

【コラム】川越の自然を訪ねて (41) チョウの紹介 (その5)



キアゲハ



クロアゲハ



ナガサキアゲハ

チョウの区分はふつう5つのグループに分けられます。

今までセセリチョウ科、シジミチョウ科、タテハチョウ科、シロチョウ科と4つのグループについて紹介してまいりましたが、今回は最後にアゲハチョウ科のチョウについて紹介します。

アゲハチョウ科のチョウ

たいいてい大型ではねの形や色彩はさまざまです。熱帯から亜寒帯にたくさんの種類がすみ、寒い地域にいくほど少ないです。後ろばねにしっぽ(尾状突起)を持つ種類も多く、英語ではSwallowtail(つばめの尾)とよばれる。

主なチョウのグループ

3つの亜科に分けられ、日本ではウスバアゲハ亜科とアゲハチョウ亜科の2グループが知られています。

(1) アゲハチョウ亜科のグループ

アオスジアゲハの仲間、ジャコウアゲハの仲間、アゲハの仲間に分けられます。大型であてやかなチョウが多い。

ジャコウアゲハ、キアゲハ、アゲハ、クロアゲハ、オナガアゲハ、ナガサキアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、モンキアゲハ、シロオビアゲハ、アオスジアゲハ、ミカドアゲハ等

(2) ウスバアゲハ亜科のグループ

ウスバシロチョウの仲間とギフチョウの仲間ギフチョウ、ヒメギフチョウ、ウスバシロチョウ、ウスバキチョウ(国の天然記念物)

アゲハチョウ科の生活サイクル

卵：ふつう球形ですが、ジャコウアゲハの卵はキューピーの頭形。表面はつるりとしたものが多いが、ウスバシロチョウの仲間やジャコウアゲハの仲間の卵は表面がでこぼこしている。

幼虫：頭部に伸び縮みする肉角をもつのが特徴。肉角は、ふだんは体の中にしまっており、驚くと角のように飛び出して独特のいやなにおいを出し、捕食者を驚かせ、撃退する。

さなぎ：基本的に、幼虫の吐いた糸で体をささえるスタイル(帯蛹)。緑色系と茶色系があり、同じ種類でも、蛹化するときの環境によって色の違う場合も多い。

アゲハチョウ科のチョウは大きくて色鮮やかで飛ぶ力も強いチョウですが、休息するときや、日光浴するときにははねを開くが、眠るときは閉じるものが多いです。

今回は5つのグループに区分して紹介してまいりましたが、最終回として一番大きなチョウの多いアゲハチョウの仲間を紹介しました。

(猪俣昇)

【コラム】私のエコぐらし (19) 昭和の家屋と平成家屋の経済比

幸か不幸か、平成26年(2014年)1月に突然、隣接の病院が敷地拡大をしたいので、立ち退いてほしいと申し出があり、戸惑いましたが、了

解しました。この住居は、駅から3~4分で南側は、広々としていました。建物は昭和48年(1973年)建築の2階建、2世帯住宅で50坪ほど

ありました [平成 14 年 (2002 年) より夫婦 2 人暮らし]。新居は高齢の夫婦 2 人暮らしのため、25 坪の平屋とし、同年 12 月に完成しました。場所は、ゴルフ場に隣接し、駅から 10 分ほどのところになりました。今回、旧家と新築の家の設備と機器の比較してみました。

設備・機器の比較

旧家屋 夜間電力利用の電気温水器、クリーンヒーター、エアコン、石油ストーブ、2 層式電気洗濯機、蛍光灯、白熱灯、冷蔵庫、水洗トイレ、浄化槽、雨戸他

新家屋 エネファーム、床暖房 (居間のみ)、ペアガラス (雨戸なし)、太陽光発電、(2.08kW) LED 電球 (一部蛍光灯)、全自動洗濯機、水洗トイレ等

経済性比較

ここで、経済性比較をしてみますと (平成 25 年と 27 年の 1 年間の月平均)

	旧家屋	新家屋
電気	14,000	-400 円
ガス	2,800	4,700 円
水道	7,300	4,500 円
合計	24,100	8,800 円

新家屋の方が 15,300 円/月、経済的になっています。



旧家屋

結果の検討

1) 電気

旧居の方は夜間電力、冷蔵庫、各熱等の消費が多く、新居の方は、消費電力が、LED 電球、エアコン、洗濯機、TV 等が省エネ化になっており、買電が 4,300 円、売電が 4,700 円で差し引き -400 円となっています。

2) ガス

旧居の暖房は、石油ストーブを多用していてガスは、お勝手とクリーンヒーターぐらいで使用料は少なくなっています。ただし、灯油を年間 3,000 円ほど使っています。新居は、エネファームで、床暖房、風呂、洗面所、お勝手等幅広く使用していますので高額になっています。

3) 水道

旧居の方は、洗濯機、風呂、トイレ等の使用料が多くなっていますが、新居の方は、これらの機器が少水量で済むようになっており、効果が大きくなっています。

これだけの効果は、近年の技術の進歩によるものであり、節電、節水、節エネルギーの効果は大きいと思います。我が家の場合、この年齢で新居に住めるのは、非常にラッキーであり、コンパクトの家にしたのも、無駄がなく住めるようになったと思っています。家、設備等をうまく活用して、生活面、健康面に留意してエコ暮らしをしていきたいと思っています。

(社会環境部会 原嶋昇治)



新家屋

【報告】第14回かわごえ環境フォーラム（その1）



ふくはら子どもエコクラブの発表



浜尾春子さんの発表



伊藤駿さん・安藤隆さんの発表



関素子さん（初野建材工業）の発表



基調講演の草野律子さん



基調講演会場の様子



かわごえカフェ「開始前の説明」



かわごえカフェ「第2ラウンド」



かわごえカフェ「全体セッション」

概況

2月20日（土）に第14回かわごえ環境フォーラムが開催されました。今回は、会場を川越駅西口に近いウェスタ川越での開催となりました。午前の部「環境活動報告会」は66名、午後の部「かわごえカフェ」は56名の参加者がありました。例年よりも人数は少なめではありますが、たいへん盛況となりました。

が、たいへん盛況となりました。

本稿では速報として、午前部の環境活動報告会、午後の部「かわごえカフェ2016」の前半に行われた草野律子さんの基調講演の様子をお伝えします。後半のトークセッションの報告は4月号でお伝えします。（小瀬博之）

午前部の部「環境活動報告会」

環境活動報告会発表一覧

1. ふくはら子どもエコクラブ：知って、食べて、育てる、楽しいエコ活動
2. 大久保彦：市民の森ときのか（菌類）
3. 浜尾春子（埼玉県地球温暖化防止推進員）：地球温暖化の現状と私たちに出来ること
4. 武田侃蔵（クリーン&ハートフル川越）：ゴミはゴミを呼ぶ
5. 増田純一・小瀬博之・田崎愛知郎（かわごえ里山イニシアチブ）：生きものを育む田んぼプロジェクト
6. 岡田昌大・横山晋太郎・小瀬博之・（東洋大学）：植物種と設置条件によるグリーンカーテンの多面的評価
7. 伊藤駿・安藤隆・小瀬博之・（東洋大学）：生物を育む稲作の技術的並びに社会的普及の可能性

8. 大久保遼・栗田景司・小瀬博之（東洋大学）：地域協働による里山林の保全に関する研究 ～川越地域及び「こもれびの森・里山支援隊」を事例として～
9. 関素子（初野建材工業）：家を建てる前に知っておきたい地盤のこと ～環境にやさしい家づくりは地盤から～
10. 社会環境部会：社会環境部会を中心とした活動
11. 自然環境部会：自然環境部会を中心とした活動

午前中、2階の市民活動・生涯学習施設「活動室1」において行われた環境活動報告会は、学校等から1件、市民から4件、大学・事業者から4件、本会から2件の発表がありました。

スタートの“ふくはら子どもエコクラブ”か

ら多彩なメニューを提供する地元密着型の体験型環境学習が10人の子どもたちで元気に発表され勇気づけられました。

市民の発表では、キノコの専門家の大久保氏から市民の森に生息するキノコの生態を詳しく報告していただき、川越市内で珍しいキノコに会えることが分かりました。浜尾さんは、埼玉県地球温暖化防止推進員として学んで、パリ協定で関心が高まっている温暖化防止について説明し、自分でできること体系的にまとめました。

4番目は身近なゴミ出しのルールを見つめて「ゴミがゴミを呼ぶ」と題し、5年越しの自治会との苦闘の経過が武田氏から報告されました。住民の努力と行政のバックアップが課題だとされました。“コウノトリを育む農法”で田んぼの復活をめざす里山イニシアチブから増田氏が研修会を行い、生物多様性農法を実践して、その効果を田んぼの生き物調査で確かめています。

大学からは、学生のフレッシュな感覚での取組が報告されました。緑のカーテンで、つる植

物の種類により生長と気温低下の降下を検証した結果、モミジヒルガオが最も効果があったとの報告がありました。笠幡の耕作放棄田んぼの再生をめざして、除草頻度による収量との関係では手作業の困難さを克服してよく除草すると収量が増える効果が認められました。また、アンケートでは稲作への関心の高さが示されました。地域協働による里山林保全に関する研究では、キャンパス内の里山林の管理を市民協働で行い生態調査を実施しています。ヤマユリの着花率と照度との関係が認められました。

今回初めてとなる事業者からの報告は、セメント系固化材に有害物質の6価クロムが含まれており、関東ローム層は溶け出しやすく、民間工事では検査の義務づけがないので市民が関心を高めることで環境に優しい家づくりを呼びかけていました。地球規模の環境問題から足元の土壌まで幅広く、多方面からの報告を2時間聞く参加者にも頭の下がる思いでした。

(過昌司)

午後の部 基調講演：「住まい」も「まち」もオーガニックー建築からまちづくりへー

基調講演の講師である建築家の草野律子さんは建築物を扱うデカイ感じではなく、華奢なほっそりしたイメージの方でした。前半は草野さんが手がけた建築設計の中から施主の「こまった！」を「ステキ♪」に工夫した例の紹介。最初に映し出されたのは木質の壁面、無垢材のフローリング・・・さすが建売とは違う感じです。しかしこの敷地は三角形で北に傾斜しているなど、条件の良くない土地で、設計にはかなり工夫が必要だったとのこと。2例目は長野の別荘建築で、周辺の山林にあるカラマツを使っています。建築材の地産地消です。ここは別荘特有の「空き巣狙い」対応の工夫が随所にあります。窓の外からの順番が、ガラス、紙障子、板戸となっていて一見、在宅のように見えます。

3例目は東京こども図書館というコンクリー

ト建築です。規模が大きく多様な用途があり、工夫例は数知れず。後半は地元川越での「市民組織によるまちづくりの活動」に関わったお話です。川越蔵の会を通しての活動や「アートイベント」などの紹介。旧川越織物市場を舞台に「アートクラフト手づくり市」の開催などで、ソフト面からのまちづくりを試みる。このようなことで街を見直すきっかけになり、人との交流も生まれる。講演テーマの「オーガニック」とは「住まい」では自然素材（合板なし）、風通し、光などを指し、「まち」では人と人との有機的なつながりをいうのでしょうか。草野さんがこれまで川越の街をみつめ「こまった！」を「ステキ♪」に変える取り組みを見せていただいたように思います。

(賀登環)

【報告】かわごえ環境ネットの活動**緑のカーテン普及活動報告**

社会環境部会

社会環境部会として、今年の緑のカーテンの取り組みについて検討していましたが、2年度の部会において、組織的に取り組むことが確認されました。部会終了後、環境政策課「みどりの担当」担当者との打ち合わせの結果、昨年と同じく協働でやる方向で、話が進んでいます。

2年度に決まったことは、講習会の開催日を広報に掲載する関係上4月開催は無理とのことで5月6日（金）としました。

開催場所、時間、数量については、3年度の部会終了後進める予定です。

昨年は、2会場60名での募集でしたが好評で数時間で満杯になりました。会場の関係もありますので、増やすかどうか担当者と検討し、次回の打ち合わせで場所、時間、募集人数を決めたいと思っています。

（緑のカーテン担当 井口吉三郎）

【報告】会員・流域の活動**今年度の活動が終了しました****こもれびの森・里山支援隊**

1月23日（土）薪割り体験



2月6日（土）チップング作業



2月21日（日）チェンソーによる伐採

東洋大学川越キャンパスの広大な森林のうち、放置状態であった3.5haを、2014年6月から市民と協働で里山林保全を行っています。1年半が経過して、うっそうとした藪が見通しのよい明るい林に戻ってきています。今年度の活動は2月末をもって終了しました。4月からの次年度の活動は未定ですが、隣接するグラウンドを植樹した自然再生エリアも開放が始まっています

ので、リクエストがあれば、観察会としてみなさまをご案内したいと思いますので、ぜひお声がけください。

活動の様子は、「こもれびの森・里山支援隊」Facebookページに掲載しています。どなたでもご覧いただけます。

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama/>

（小瀬博之）

「川の再生交流会」に参加して（2月6日）

開催日：2月6日（土）10:30～16:00

会場：さいたま市民会館うらわ

参加者：300人程度

2010年にスタートした水辺再生100プランから川のまるごと再生事業まで6年経過し、一段落の感がありました。埼玉会館で行われていた当初は上田知事が主催者となり相当の勢いがありましたが、最近では、主催が県の環境部長とな

り、来年以降の計画の報告もなく、今後の継続性が感じられませんでした。

午前の部は、司会は浦和第一女子高校アナウンス部の女性2名でつつがなく行われ、オープニングコーラス、川の国埼玉宣言、講演と進みました。講演は、環境省大臣官房の吉川圭子氏が「浄化槽と埼玉県の水環境」と題して解説があり、埼玉県の浄化槽が単独浄化槽（トイレの

みの浄化)が多いため、まだまだ川の汚れが多く、合併浄化槽への転換が望まれると強調されました。

その他、小、中学校の環境学習事例及び、川の再生活動団体の事例発表が3件ありました。

午後は、毎年行われている分科会で、

第1分科会:始めの1歩くボランティアの始め、地域の役に立ちたい>

第2分科会:美化活動のすすめくゴミのない川、魚が泳ぐ川>

第3分科会:環境学習く地域と学校を結び、学ぶ>

第4分科会:多自然の川づくりと環境保全く自然と心を結ぶ川づくり>

第5分科会:100プランとまるごと再生事業く継続させる活動と交流>

第6分科会:水質改善く我が家の排水はどこへ行く。マナーの向上>

私は、例年第5分科会に参加しており、今年も分科会は30名ぐらいの参加で4~5名のグループで情報交換をしました。

川の活動は、県の南西部の地域が活発のように思われます。草加市の綾瀬川・伝右川、羽生市の中川、鴻巣市の元荒川、八潮市の垢川等。

なぜでしょうか。

- 1) 流速が遅くごみが溜まりやすい。
- 2) 満潮時には、東京湾から海水が逆流してくるところがある。

- 3) 川辺に住宅が多い。

等から、ヘドロや、ゴミが溜まったりして、清掃をせざるを得ない気運もあるようです。

川越近辺は、上記のような条件もなく、70歳以上の人は、子供のころ川で遊んだ郷愁がありますが、50歳未満の人たちは、川で遊んだことがほとんどなく、興味をもたれないのではないかと思います。

分科会では、日高市で、巾着田と高麗神社を結び、観光客が両方楽しめるようにとの考えで、その間の高麗川の河川敷にコンクリートの遊歩道を作る工事が、高麗川まるごと再生工事として、地元の民間団体リンクス高麗川が全く知らされていないまま県の事業で進められており、工事が相当進んだ段階で知ったとの報告がありました。行政との連携の大切さを実感する事例かと思えます。

川越市でも、川の活動団体が多くあり、県や市の管轄河川について情報交換して活性化する必要があるのではないかと思います。

(南小畔親水クラブ 原嶋昇治)



オープニングコース



講演「浄化槽と埼玉県の水環境」

◆かわごえ環境ネット会員募集 会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です(3月中の入会は次年度から)。詳細は、かわごえ環境ネット事務局にお問い合わせるか、Webサイト (<http://kawagoekankyo.net>) をご覧ください。



寺尾調節池の木道完成「ニコニコ橋」の愛称で渡り初め（2月21日）



祝典主催者らのあいさつで

新河岸川の度重なる水害対策として作られた寺尾調節池も、2003（平成15）年の完成以来、市民の自然観察や健康づくりの場所として親しまれています。周囲約2kmの堤防は、ウォーキングやジョギングで賑わい、堤防下の池は水生植物や低植物が繁茂し、鳥や小動物が観察されています。この豊かな自然の環境保全に「調節池を愛する会」（加藤和徳会長）が定期的にクリーン活動を続けています。

さらなる、調節池の魅力を高めるための木道工事が、地元の意向に応じてできあがり、さる



親子手をつないでの渡り初め

2月21日（日）午前中に完成披露祝典が、地元自治会主催で開かれ、渡り初めが行われました。

幅2mの木道が、近くの寺尾小学校寄りの東南部に約200mにわたって作られました。地元では、寺尾小学校児童による「ニコニコ橋」という愛称で呼ばれているそうです。これからは、普通の公園では見られない水辺と野生との共存の豊かな自然が身近に観察されます。魅力いっぱいですが、マムシや小動物の危険、水辺の泥地への転落など、安全対策に一層の地元の対応が求められています。（武田侃蔵）

「生きものを育む田んぼプロジェクト」



冬から水が入った福田のふゆみず田んぼ
コウノトリの飛来が待たれる

かわごえ里山イニシアチブでは、2016（平成28）年度に向け、福田のはるみず田んぼで「みんなで無農薬・無化学肥料によるお米作りを！」を始める。かわごえ里山イニシアチブでは、発

かわごえ里山イニシアチブ



昨年開催のコウノトリ育む田んぼフォーラム

足当初から米作りだけではない田んぼの価値に注目し、人と生きものに優しい里山づくりを目指し、みんなで連携して田んぼの生きものの賑わいを取り戻し、いのち育む農法を推進して川

越の地にコウノトリや雁を呼び戻そうと精力的な活動を行っている。活動を行うのは川越市の北部に広がる福田の田んぼで、耕福米高梨農園の協力を得て、4月から農薬も除草剤も使わないはるみず田んぼによる「生きものを育む田んぼプロジェクト」の開始に向け準備を進めている。この田んぼプロジェクトの参加者は、当農園の高梨耕治氏や民間稲作研究所代表の稲葉光國氏の指導のもと、有機稲作農法を実地に学びながら収穫したお米を持ち帰ることができる。

3月5日(土) 13:00からそのキックオフというべき「かわごえ里山 2016 田んぼフォーラム(後援 川越市・かわごえ環境ネット)がウェスタ川越で開催され、稲葉光國氏による「誰でもできる、いのち育む有機稲作」の基調講演があり、その農法のノウハウすべてが公開される。

この農法は、日本の豊かな自然と先人の知恵を現代の科学でさらに発展させ、豊かな生物多様性を復活させることにより、雑草や病害虫からイネを守ってもらう栽培法でその成功のため

のポイントが講演される。

有機稲作にチャレンジしたい方、川越の地にコウノトリや雁を呼び戻したい方、稲作農家の応援をしたい方、話だけを聞きたい方などの参加を呼び掛けている。

この田んぼフォーラムに引き続き、「生きものを育む田んぼプロジェクト」が始まり、4月16日(土)と5月21日(土)に有機稲作ポイント研修会が実施される。こちらの参加も逐次受け付けが開始される。

このような活動が休耕田を作らないよう農家を応援する一方で、カエルやドジョウの田んぼの生きものを復活させ、豊岡から放鳥され安住の地を求めて全国をさまよっているコウノトリが、川越に長期滞在できる地に選んでくれることを夢見て、あらゆる面での市民参加を呼び掛けています。

お問い合わせは kawagoesatoyama@gmail.com まで。Facebook ページは、<http://www.facebook.com/kawagoesatoyama> です。(増田純一)

【報告】理事会・専門委員会

理事会

かわごえ環境フォーラムも無事終わり、全体行事がすべて次年度への準備がこれからの活動の中心となります。また季節は寒暖の行きつ戻りつがありインフルエンザも警戒時期が続いています。第11回理事会は、2月26日(金) 10:40~12:20 ごろに福田ビル 3階会議室において開催されました。主な議題は次のとおりです。

(1) 次期理事および監事の選出: 4月8日(金)までの期間としました(会員には今号に立候補用紙を同封)。5月21日(土)の総会で承認して新しい理事会が始まります。

(2) 次年度事業について: 全体事業について事業運営委員会の審議結果が報告されました。このほかに専門委員会である社会環境部会、自然環境部会は、年間活動の評価と反省をして活動

計画をつくっていただくことになりました。なお、エコプロダクツ川越は、4月1日(金)からの申し込みなので4月に共同での参加団体を募集します。

(3) 新たな川越市環境行動計画(かわごえアジェンダ21)について2016年度作成を行うので、4月に会員から委員を公募して5月に作成委員会を発足させ、12回ほどの委員会を行い、パブリックコメント(9月予定)をへて年内には策定する予定です。

(4) その他: 本会の財政については、協賛金が計画を下回ったので、次年度はこれまでより厳しい運営にならざるを得ない状況にあります。今年度の決算を見て、次年度予算の配分を適切に検討する必要があります。(過昌司・小瀬博之)

事業運営委員会

第9回委員会を2月26日(金)9:00~10:30に福田ビル3F会議室において開催、出席者は事務局を含め7名、主な議事は次のとおりです。

1.報告事項

①水辺と川の小委員会

i) 2月6日(土)川の再生交流会(記事参照)、新河岸川広域景観づくり連絡会は、3月14日(月)に黒目川下流の見学会、5月26日(木)に総会が予定されている。3月13日(日)には荒川流域ネットワークのシンポジウムが予定されている。新河岸川水系水環境連絡会は、3月21日(月)に水質調査の報告会があり、次年度計画が話し合われる。

2.検討事項

①第14回かわごえ環境フォーラム(2月20日)

- ・参加者は午前66名、午後56名であった。
- ・会場はウェスタ川越がよかった。会場へのアクセスや費用面から館内の南公民館がよい。来年もここを会場としたい。

- ・発表時間が短かった。しかし時間の関係でやむを得ない。などの意見が出た。

- ・今後の実施事項として協賛団体・講演者へのお礼、月刊紙への掲載を行う。

- ・来年度は2月18日(土)の開催を予定する。

②水辺と川の活動

i) 6月5日(日)第11回川の一斉水質調査
ii) 4~5月に県土事務所関係の水辺の環境団体との懇談会を予定する。

③まち美化活動

i) 7月18日(月)夏の郊外クリーン活動
ii) 10月15・16日(土・日)川越まつりクリーン活動
iii) 12月23日(金)歳末まち美化活動

④出展行事

7月24日(日)エコプロダクツ川越2016への出展を予定する。

⑤アースデイ、北公民館まつりへの参加は今後検討する。(村上正明・小瀬博之)

社会環境部会

2月の例会は、12日(金)福田ビル3階会議室において9名の出席のもとに開催されました。

1.報告事項

原嶋部会代表から理事会について報告があった。①総会は5月21日(土)に開催の予定で、各部会は3月中に次年度の事業計画案を提出する②年次活動報告集作成に係る協賛者が当初予定の6社から4社に減少し収入額が落ち込むため、各部会とも年度末の経費節減に努める③2月20日(土)開催のかわごえカフェの参加者は80~100名を期待のところ、現時点では30名程度が申し込みで、引き続き参加の呼びかけを行う④かわごえアジェンダ21推進委員会の参加者が少数で思わしくない。これに関し環境政策課の担当者から、今後の環境行動計画の策定に際して意見を聴く場を設けるとの補足があり。参加者の拡充に資するべく全体のスケジュール

を告知する等、工夫を図る必要がある。

1月定例会開催以降の活動として、武田さんから1月10日(日)に新しい成人式会場周辺の美化活動を行ったが、昨年までと異なり会場周辺は極めてきれいで、出番はない状況であった。マナーが向上しているのと施設側が美化に努めていることによるもので、次年度も実施するか今後検討するとのこと。浜尾さんから平成27年度の社会環境部会の予算は3万円程度の残額があるとの報告があり、今後上記②に配慮して執行することとした。

2.協議事項

(1)当面の行事

2月20日(土)開催の環境フォーラムでは武田さん、浜尾さん、関さん他の方々の報告が行われること、横山さんの説明で当日の役割分担を確認した。

(2) 2016年度事業計画等

部会が主催する①環境施設巡りについては、法令に抵触しないよう工夫する必要があります、当面旅行会社に所要経費等を打診する、②環境講演会は前年度に引き続き開催する、③エコドライブ教習会は安全性、実効性を念頭に置き実施方法を検討する、④緑のカーテン推進活動は前年並みの規模で実施する。個別団体の活動については各団体の自主性に委ねるが、部会としても極力支援する。

ウェスタ川越の事業として新たに開始される環境に係る講演会を、本会が年間4回受託事業として実施する予定であり、部会として対応する。その他の活動についても理事会での検討状況を見て適宜対応する。

(3) 次回開催について

月刊誌3月号の「私のエコ暮らし」投稿は、原嶋さん、次回3月例会の進行役は井口さんがあたります。(社会環境部会 代表：原嶋昇治、報告：板野徹)

自然環境部会

2月例会は12日(金) 福田ビル3階にて9名の参加で開催された。

1.活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例調査・保全活動 1/11(月) 13名参加(野鳥巣箱調査、樹木の名札新調) 1/25(月) 雪のため中止 2/8(月) 14名参加
- ②「池辺公園」定例活動 2/2(火) 8名参加(竹の駆除、枯損木除伐など)

③キノコ学習会 2/5(金) 大東南公民館 7名出席

2.協議事項

- ①来年度の役員体制・・・継続する(代表：賀登、会計：過)
- ②来年度の方針、事業計画について
- ③ウェスタ川越での環境講座について・・・9月から4回本会で企画・運営
(自然環境部会代表 賀登環)

かわごえアジェンダ21推進委員会

第11回新かわごえアジェンダ21検討会を2月25日(木) 17:00-19:00に東洋大学川越キャンパス第5会議室で開催しました。出席者は5名でした。前回に続き「望ましい環境像が実現したときの川越のようす」の内容について検討しました。今回は「3.自然のようす」「4.まちのようす」「5.市民活動のようす」について盛り込まれている事項のこれまでの状況と今後の見通しをふまえた方向性を議論しました。

具体的な審議結果については、Wiki (<http://w>

iki.kawagoekankyo.net/)の「新かわごえアジェンダ21検討会第11回(20160225)」をご覧ください。次回(3月18日金曜日 17:00-19:00 同所)は、次年度のかわごえアジェンダ21作成委員会設定に向けての必要事項を審議します。これまで、この検討会はオープンな形式で実施してきましたが、次回も委員に限らずオープンな形で進めてまいりますので、会員の方はぜひ議論に加わってください。

(委員長 小瀬博之)

◆インターネットでつながりましょう かわごえ環境ネットでは、インターネットでの情報発信を積極的に行っています。本紙もカラーでご覧いただけます。活動報告も素早く掲載。ぜひご活用ください。

[Web サイト] <http://kawagoekankyo.net>

[Twitter] <https://twitter.com/kawagoekankyo>

[Facebook ページ] <https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>



【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事

【トピック・後援】3月5日「かわごえ里山2016 田んぼフォーラム」

3月5日(土) 13:00~17:00 (12:30 開場)、ウエスタ川越 (川越市新宿町 1-17-17) において、かわごえ里山イニシアチブ主催の「かわごえ里

山 2016 田んぼフォーラム」が開催されます。最初に基調講演として、民間稲作研究所の稲葉光國氏による「誰でもできる、いのち育む有機稲作」と葛谷栄一氏の「国民皆農からの地域コミュニティ再生」があります。続いて、林鷹央と百生一喜バンドによるミニライブ「生物多様性里山ソング&トークライブ」があります。

最後にこれらの方々とかわごえ里山イニシアチブ関係者を交えたパネルディスカッションを行います。

この行事は、かわごえ里山イニシアチブが平成 28 年度活動に掲げている「生きものを育む田んぼプロジェクト」のキックオフ的なフォーラムとなります。当日参加も受け付けます(会場定員 100 名)。問い合わせは電話 (070-5599-262 3:増田)、または E-mail (kawagoesatoyama@gmail.com) でお願ひします。

なお、参加費は会員 500 円、一般 1,000 円となっております。

会合

◆広報委員会 (2016 年 3 月度)

日時: 3月9日(水) 15:00-16:00

場所: ウエスタ川越 2 階市民活動・情報コーナー (川越市新宿町 1-17-17)

* 次回は 4 月 6 日(水) 9:00-10:00 同所

●社会環境部会 (2016 年 3 月度)

日時: 3月11日(金) 13:00-15:00

●自然環境部会 (2016 年 3 月度)

日時: 3月11日(金) 15:00-17:00

場所: 福田ビル 3 階会議室 (川越市郭町 1-2-3)

* 両部会とも会員はどなたでも参加できます。
* 両部会は、毎月第 2 金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催。次回は 4 月 8 日(金) 同時間。

◆事業運営委員会 (2015 年度第 10 回)

日時: 3月18日(金) 9:00-10:30 (期日変更)

場所: 川越市役所 7 階 7B 会議室 (川越市元町 1-3-1)

* 次回は 4 月 26 日(火) 9:00-10:30 会場未定(終了後 10:30-12:00 理事会開催)

◆理事会 (2015 年度第 12 回)

日時: 3月18日(金) 10:30-12:00 (期日変更)

場所: 川越市役所 7 階 7B 会議室

* 次回は 4 月 12 日(火) 9:00-12:00 会場未定

●新かわごえアジェンダ 21 検討会 (第 12 回)

日時: 3月18日(金) 17:00-19:00

場所: 東洋大学川越キャンパス福利厚生棟第 5 会議室

* 会員はどなたでも参加できます。

* 次回開催未定

自然環境部会主催事業

★(仮称)川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業(毎月第2・第4月曜日)
 日時: 3月14・28日、4月11・25日(月)
 9:30-12:30
 集合: 9:30 川越南文化会館(ジョイフル)
 (川越市今福1295-2)

問い合わせ: 賀登(049-234-9366)
 ★池辺公園定例活動(定例毎月第1火曜日)
 日時: 3月1日・4月5日(火) 9:00-12:00
 場所: 池辺公園(川越市池辺1302)
 問い合わせ: 菅野

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課

問い合わせ(Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp)

◎かわごえの生き物をたずねて(観察と講義)
 生物多様性の重要性を多くの市民に理解して
 いただく講座を開催いたします。
 日時: 3月26日(土) 9:00-16:00(少雨決行)
 会場: 川越水上公園(川越市池辺880)ほか

定員: 先着30人
 持ち物: 野外活動できる服装。タオル。昼食等。
 申込: 3月3日(木) 9:00から電話(049-224-5866)で川越市環境政策課

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ: 谷津弘子(Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

◎森林公園かんさつ会
 ①3月20日(日) 公園主催、考える会協力
 国営武蔵丘陵森林公園南口(入園後受付) 10:20
 集合、15:00頃終了解散
 春の野草を中心に観察します。スマレやアマ
 ナの花との出会いを楽しみましょう。
 ②4月7日(木) 考える会主催
 国営武蔵丘陵森林公園南口休憩所(入園前受付)
 10:20集合 14:00ごろ終了解散、入園料要、参加

費無料、お弁当持参。雨天決行。
 野鳥や春の訪れを知らせる野草やカエルやト
 ウキョウサンショウウオ生息地の観察と調査を
 行いましょう。
 ③4月24日(日) 考える会主催
 要項は②と同じ。
 春の野草を中心に観察します。スマレやフデ
 リンドウの花、ミヤマセセリ(蝶)との出会い
 を楽しみましょう。

福原ファームクラブ

問い合わせ: 横山三枝子(Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験
 3月12日(土) 9:30-12:30 ごろ
 4月9日(土) 9:30-12:30 ごろ
 場所: 明見院(今福677) 近く
 内容: 農作業(B級品のお土産付き)
 会費: 保険代100円、クラブ員1家族1,000円
 (年間)

2016年度予定表		
月	日	活動内容予定
3	12	雑木林の手入れ 遊ぼうパン・スープ
4	9	トウモロコシの植え付け
5	14	枝豆植え付け他
6	11	人参畑の片付け他
7	9	トウモロコシの片付け

みなみかぜ いきいきたんぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪ たんぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業（毎週金曜日午前）

日時：3月4・11・18・25日（金）10:00-12:00
地域交流センターに集合、農作業は近隣の田

んぼです。

◎月例会

日時：3月11日（金）10:00-12:00
場所：地域交流センター和室

◎オリエンテーション&交流会

日時：3月26日（土）10:00-12:00
場所：地域交流センター和室

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育むたんぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものにぎわいを取り戻す活動を行っています。

◎かわごえ里山 2016 たんぼフォーラム

日時：3月5日（土）13:00-17:00
場所：ウェスタ川越（川越市新宿町 1-17-17）
12 ページの「トピック」をご覧ください。

◎月例会

日時：3月26日（土）16:00-18:00
場所：伊勢原公民館（川越市伊勢原町 5-1-1）

毎月第4土曜日に例会を開催しています。広く意見を求めるために会員・非会員を問わずどなたでも参加可能です。日程・場所が変更になる場合もありますのでお問い合わせください。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3木曜日

日時：3月1日（火）・17日（木）
4月5日（火）・21日（木）13:30-15:00
川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：3月13日・4月10日（日）9:30-11:00
本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：3月26日・4月23日（土）13:30-15:00
川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅ま

で。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに渡辺（049-242-4322）へご連絡ください。

①3月27日（日）9:00-11:00

□新河岸川広域景観づくり連絡会の流域一斉清掃に協力。新河岸川新扇橋から下流の放水路分枝橋まで。旭橋、川崎橋等に集合して活動。

②4月24日（日）9:00-11:00

□新河岸川（赤間川部分）八幡橋集合、三日月橋まで。月吉陸橋下にごみを集めて解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

◎小畔川八幡橋下流の魚類調査

日時：4月24日(日) 9:30-12:00

網、ウェダーなどは貸し出しします。お気軽に親子でも参加ください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)、当日の携帯電話連絡 (Tel.080-6584-3010)

◎伊佐沼でバードウォッチング (毎月第2日曜日)

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ (小雨決行)。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・防寒具。参加費：300円、高校生以下 100円 (保険料・資料代)

①3月13日(日)

シジュウカラのさえずりを聞きながら公園の小鳥たちを探します。冬鳥たちも繁殖地へ向かう途中で、思わぬ鳥と会えるかもしれません。

大きな声で鳴くコチドリがペアで飛び春の訪れを知らせてくれます。

②4月10日(日)

桜が咲き春爛漫です。カイツブリの声が聞こえて子育ての始まりを知ります。

南の国で冬を過ぎたツバメなどの夏鳥が帰って込ました。シギやチドリも、子育てのため北の国へ渡る途中沼で休んでいきます。

新河岸川広域景観づくり連絡会

問い合わせ・申し込み：過昌司 (Tel. 049-246-1155)

◎黒目川下流ウォーク

日時：3月14日(月) 10:00-

集合場所：東武東上線朝霞台駅東口 (武蔵野線北朝霞駅側) 階段下

参加費：無料 (事前申込不要)

*雨天順延の場合、3月26日(土) 時間、集合場所は同じ

2012年から進んでいた「黒目川まるごと再生プロジェクト」がほぼ完成しました。再生のテ

ーマは「地域特性を生かした、自然と調和し地域住民に親しまれる川」で行政、地元自治会、および地域活動団体などが協力して取り組んできました。その内容は、遊歩道の整備、案内板の設置などが行われています。“わくわく新河岸川市民の会”の山本さんたちの案内で黒目川の下流を観察します。埼玉県が実施した丸ごと再生事業の参考になりますので関心のある方の参加をお待ちしています。

広報委員会からのお知らせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2016年4月号 (No.114, 4月1日発行予定) の掲載原稿は、3月15日(火) 必着です。電子データでいただくととても助かります。原稿と写真は編集担当共有のメールアドレス (koho@kawagoekankyo.net) にお送りください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局 (環境政策課、川越市役所本庁舎5階) に提出してください。

●おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及

び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (3月2日~4月23日)

日	月	火	水	木	金	土
★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください			3/2	3/3	3/4 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	3/5 ★13:00 かわ ごえ里山 2016 田んぼフォー ラム
3/6	3/7	3/8	3/9 ◆15:00 広報 委員会	3/10	3/11 ◎10:00 月例 会・農作業(み なみかぜ) ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	3/12 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験
3/13 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバ ードウォッチング	3/14 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全作業 ◎10:00 黒目川 下流ウォーク	3/15 ○本紙4月号 投稿期限	3/16	3/17 ◎13:30 まち 美化啓発運動	3/18 ◆9:00 事業運 営委員会 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ◆10:30 理事会 ●17:00 新アジ ェンダ検討会	3/19
3/20 春分の日 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	3/21 振替休日	3/22	3/23	3/24	3/25 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ) ◆9:00 事業運 営委員会 ◆10:30 理事会	3/26 ◎9:00 かわご えの生き物を たずねて ◎10:00 オリエン テーション&交流 会(みなみかぜ) ◎13:30 まち 美化啓発運動 ◎16:00 月例会 (かわごえ里山 イニシアチブ)
3/27 ◎9:00 新河岸 川市内流域清掃	3/28 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全作業	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2
4/3	4/4	4/5 ★9:00 池辺公 園定例活動 ◎13:30 まち 美化啓発運動	4/6 ◆9:00 広報委 員会	4/7 ◎10:20 武蔵 丘陵森林公園 かんさつ会	4/8 ●13:00 社会 環境部会 ●15:00 自然 環境部会	4/9 ◎9:30 おいしく 楽しく農業体験
4/10 ◎9:30 まち美 化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバ ードウォッチング	4/11 ★9:30 (仮称) 川 越市森林公園計画 地調査・保全作業	4/12 ◆9:00 理事会	4/13	4/14	4/15 ○本紙5月号 投稿期限	4/16
4/17	4/18	4/19	4/20	4/21 ◎13:30 まち 美化啓発運動	4/22	4/23 ◎13:30 まち 美化啓発運動

月刊 かわごえ環境ネット 2016年3月号 No.113

発行日 2016年3月2日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>